

宇都宮市全小中学校で取り組む 小中一貫教育制度イメージ



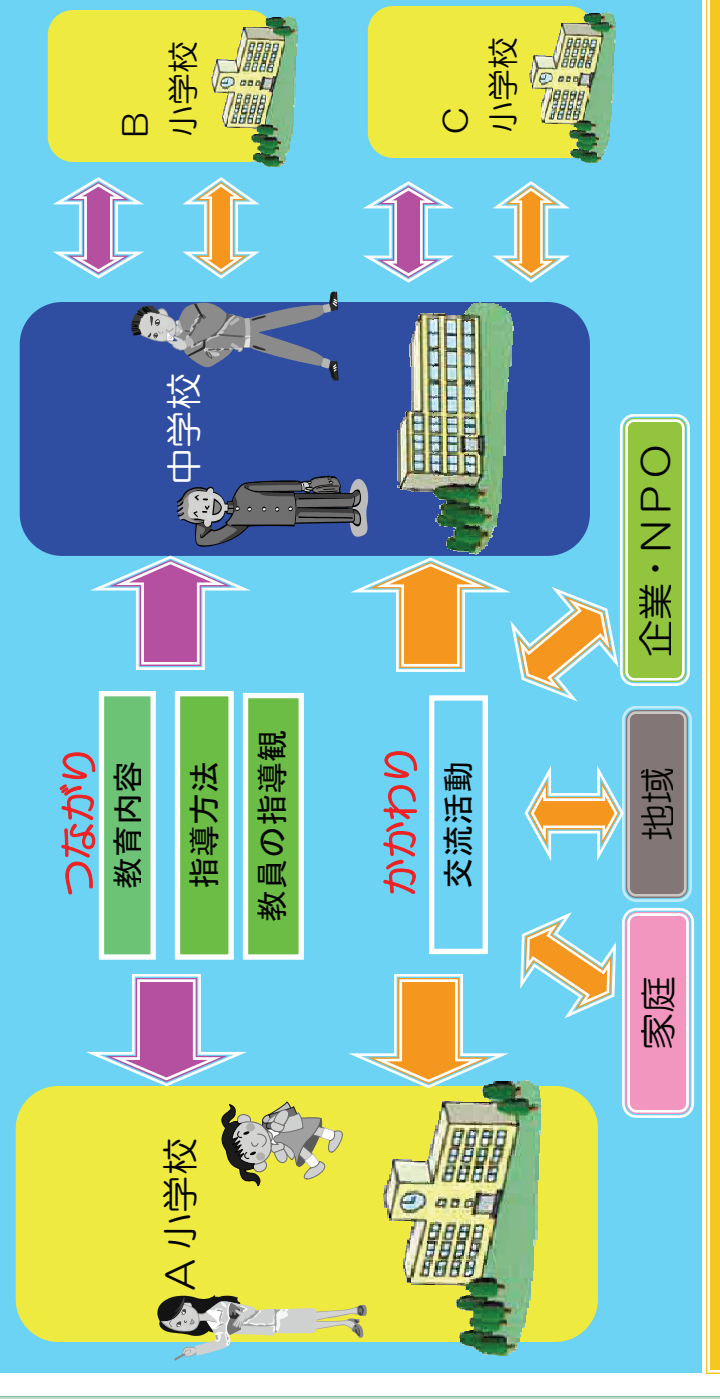
本市学校教育の目標

小中一貫教育の期待できる成果

- 9年間を一体的にとらえた教育内容・指導方法により、一層、学力や体力などが向上します。
- 小中学校の子ども達の発達に応じた指導により、一人一人、学習や学校生活に適應します。
- さまざまな人とのかかわりにより、社会性や豊かな人間性を十分に育みます。

小中一貫教育の目指すもの

小中9年間を通して、「つながり」「かかわり」の中で学び育つ 宮っ子

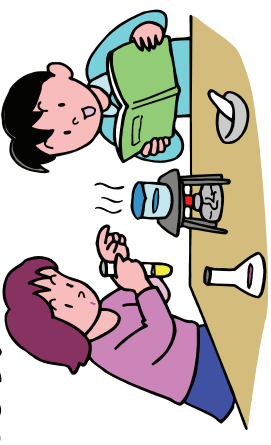


小中一貫教育の展開

【教育内容のつながり】

○小中学校の教育内容の重なりをなくした、より児童生徒の実態に合った系統性のあるカリキュラムにより、児童生徒が無理なく小中学校9年間教育内容を学べるようにします。

○コミュニケーション力など、子どもが身に付けるべき教育内容を開発し、小中学校9年間で着実に学べるようにします。



【指導方法のつながり】

○中学校で実施されている教科担任制を小学校5年生から取り入れ、専門的な指導により、確かな学力や体力を身に付けられるようにします。

○小学校の教員のきめ細かな指導を中学校に、中学校の教員の専門的な指導を小学校で展開することにより、基礎基本の確実な定着と子どもの「よさ」を伸ばできるようにします。

●児童生徒指導や特別支援教育などに関する小中情報交換会などを実施し、一人一人に応じた指導方法を検討することで、学校生活に十分に適應できるようにします。

【教員の指導観のつながり】

○全市において小中学校教員の人事交流を推進し、教員一人一人が、9年間を見通して指導できる資質を磨き、小中学校共通の指導観に基づいた充実した教育活動ができるようにします。

●小学校の教員が、同じ地域の中学校へ異動するなどして、中学校に入学した子どもへ学校生活に関するアドバイスをするなど、適應支援ができるようにします。

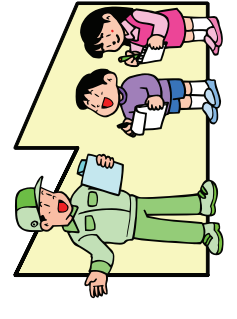
【交流活動でのかかわり】

○同じ地域内にある小学校間、また中学校の交流活動推進により、小中学生が互いにかかわれるようにし、社会性や思いやり、リーダー性などを体験を通して身に付けることができるようにします。

【家庭や地域、企業等とのかかわり】

○地域の教育資源を十分に活用し、家庭や地域と積極的にかかわりながら、学習の内容を深めたり広めたりできるようにします。

○企業・NPOの教育への参画を促進するなどして、企業とのかかわりを深め、「働くことの意義」について学べるようにします。



主に ○学習指導 ●学校生活適應 の内容